

コンテンポラリー アニメーション入門

～現代短編アニメーションの見取り図～ 2021

我々の同時代にどのようなアニメーション作家が、どのような意識で作品を制作しているのでしょうか。短編アニメーションは常にアニメーション映像の可能性の最先端を走っています。しかし、実際に製作者や観客の興味の増幅ほど、短編アニメーションを見て知る機会は増えてはいません。まずその基礎知識を共有して、コンテンポラリーアニメーションの見取り図を描くことがこの公開講座の目標です。東京藝術大学大学院映像研究科では、世界的に「いま」を象徴する作家の作品の鑑賞を中心に、講義を公開で行います。

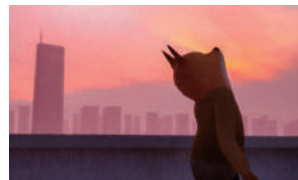


2009年7月に始まった公開講座「コンテンポラリーアニメーション入門」は、今年韓国アニメーションを通じ韓国の歴史と社会、そして注目の韓国現代作家を展望します。

第35回講座

演題: **アニメーションで見る韓国社会**
講師: **チェ・ユジン、山村浩二**
日時: **12月4日(土) 午後4時～午後6時**

作品上映: 「修羅」チョン・ヘジ、2020
「マスコット」キム・リハ、2019
「土曜日の多世帯住宅」チョン・スンベ、2018
「父の部屋」チャン・ナリ、2016
「虎と牛」キム・スンヒ、2019
「祭祀(チェサ)」ソン・ギョンウォン、2019



第36回講座

演題: **現代韓国アニメーションの作家たち**
講師: **チェ・ユジン、山村浩二**
日時: **12月5日(日) 午後4時～午後6時**

作品上映: 「恋愛ごっこ」チョン・ユミ、2012
「幽霊たち」バク・ジョン、2019
「鹿の花」キム・ガンミン、2015
「アフタヌーンクラス」オ・ソロ、2015
「隕石が落ちたらいいな」イ・サンファ、2020
「愛は夢と現実の交差点で」チェ・ヒスン、2019



講師: **チェ・ユジン**

インディアニフェスト・フェスティバルディレクター/
KIAFAゼネラルマネージャー

CHOI Yujin



企画・講師: **山村浩二**

東京藝術大学大学院映像研究科アニメーション専攻教授

Koji Yamamura



大学で歴史学の学士号を取得後、2007年にカルチュラル・スタディーズ分野で経営学の修士号を取得した。プロとして、いくつかの映画祭の委員会メンバーとして招かれ、定期的に記事やレポートを書いている。2007年からは韓国インディペンデント・アニメーション協会のゼネラルマネージャーを務め、2017年からはインディアニフェストのフェスティバル・ディレクターを務めている。2010年からは韓国のインディペンデント・アニメーションを配給しており、プロジェクト名は「アニシード (AniSEED)」。

「頭山」(2002年)が第75回アカデミー賞にノミネート、アヌシー、ザグレブ他6つのグランプリを受賞、「今世紀100年の100作品」の1本に選出される。「カフカ 田舎医者」(2007年)がオタワ他7つのグランプリを受賞、アニメーション作品の受賞は100を超える。世界4大アニメーション映画祭すべてでグランプリを受賞した唯一の監督。2021年、過去25年間の優れた世界の短編監督25人のトップ2に選出。川喜多賞、芸術選奨文部科学大臣賞受賞、紫綬褒章受章。米国アカデミー賞(映画芸術科学アカデミー)会員、国際アニメーションフィルム協会理事、日本アニメーション協会副会長。

会場: **東京藝術大学大学院映像研究科 馬車道校舎 大視聴覚室**
事前予約制、先着45名、ただし新型コロナウイルスの状況によって収容人数を変更する場合がございます。

Vimeoによるオンライン配信も同時開催

事前予約制、上映作品の都合上、日本国内限定での配信となります。日本国外から本講座にアクセス・ご視聴頂くことができませんのでご了承ください。

事前予約期間: **11月8日(月) 10:00～12月2日(木) 18:00**

アクセス: みなとみらい線「馬車道駅」5・7番出口を出てすぐ
お問い合わせ先: 東京藝術大学大学院映像研究科アニメーション専攻
E-mail: anim_contact@ml.geidai.ac.jp
専攻 web サイト: <https://animation.geidai.ac.jp>
主催: 東京藝術大学大学院映像研究科、横浜市文化観光局

申込、詳細はホームページをご覧ください。

<http://animation.geidai.ac.jp/ca/>

